

庁舎課題に関する 基本計画が策定されました

庁舎課題に関する
基本計画とは

計画の内容

庁舎に関する市民アンケート、市民説明会、出前講座等の様々な市民のご意見、また嘉麻市を取り巻く財政状況、少子高齢化の進展、公共交通機関の現状等を踏まえ「嘉麻市新庁舎課題に関する基本計画（骨子案）」を策定した。

この骨子案をもとに、嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（以下「審議会」という。）の意見や庁舎検討と技術的な観点からの整理等を行い、嘉麻市庁舎課題に関する具体的な整備計画について、「嘉麻市新庁舎課題に関する基本計画」として定めるものである。



ホームページでも
ご覧になれます

情報共有・説明責任

庁舎課題に関する様々な事項については、広報誌、ホームページ等の情報媒体等を活用し、市民に積極的に情報提供等を行うものとする。今後の新庁舎の設計については、審議会の意見をききながら行うものとする。また、支所のあり方、庁舎資産の活用方法等についても、地域と協議しながら方向性を整理するものとする。

行政改革の実施

今後は市の収入不足が予想されるため、行政改革の専門セクションを中心として今後一層の対応が行われる予定である。また、庁舎課題においては、職員適正化、分庁の解消、組織の合理化・スリム化等について、職員350人体制に向けた職員配置を行うものとする。

地域活性化

従来の庁舎があった地域が有機的に連携し、嘉麻市の主要な4つの地域として活性化され発展することが重要である。このことについては、新しい総合計画等において、今後のまちづくりの重要な拠点とし、市の全体ビジョンとして位置づけ、専

門的な部署が配置され活性化を図る予定である。

安心・安全な庁舎

○水害対策について

現状では大量の切土・盛土を伴う造成工事は想定されないが、今後の設計の中で建築上の工夫等により、更なる安心・安全な施設の整備を検討する。

○耐震について

地震発生の想定は困難であるため、より耐震性のある施設を計画していくものとする。

今後の設計等の検討の中で、専門家等の意見を聴きながら、更なる安心・安全な施設の整備を検討する。

○防災拠点について

新庁舎の施設整備に伴い、災害時の本庁と支所の役割に関しては、現状と同等程度の警戒配備が保たれるよう地域防災計画の内容を整理する。

新庁舎に関する 調査特別委員会における質疑

確井庁舎耐震改修について

確井庁舎の耐震工事に関する費用が、過去に示された費用と今回とで変わっているがなぜかという質問に対し、平成23年度に示した費用については、平成16年度に実施した確井中学校の大規模改修工事費用を参考に積算したものであり、平成27年12月の議会です示した費用は合併後に実施した牛隈小学校の大規模改修工事費用を参考に積算したものであるため、減額となつているとの回答があった。

稲築スポーツプラザについて

現段階において、稲築スポーツプラザが、新庁舎建設の障害になると言えるのか、解体が必要なのかという質問に対し、稲築スポーツプラザの解体については、行政改革に基づき政策的に実施するものであり、解体後の有効的な跡地利用計画として新庁舎建設を行うものであるとの回答があった。

水害対策について

新庁舎は災害時の防災拠点でもあるが、建設予定地の堤防は完成に崩れないと言えるのかという質問に対し、絶対とは言えないとの回答があった。また、災害が発生した場合の防災備蓄、発電等の対策について具体的に協議するよう要望しました。

完成 堤防

